

授業科目	必・選	学年	学科専攻	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間
技術者倫理 Engineering Ethics	必修	5年	E C B	脇野 博 脇野 博 脇野 博	1	後期週2時間 (合計30時間)	
[教材]教科書:「はじめての工学倫理」齊藤了文他編 昭和堂 その他:自製プリントの配布							
[授業の目標と概要] 現代技術の性格及び技術者に社会的責任が求められる背景を理解し、さらに事例研究を通じて、社会的責任を果たすために必要な技術者倫理に関する基礎知識を修得する。							
[授業の進め方] 講義形式で行う。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。 なお、中間試験は授業時間内に実施する。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間		内 容			
授業ガイダンス		1		授業の進め方と評価の仕方について説明する。			
1 技術者倫理の基礎知識							
(1) 倫理学の基本		1		倫理学の基本原理を学ぶ。			
(2) 倫理規定		2		技術者倫理の原則を学ぶ。			
2 事例分析							
(1) 組織とエンジニア		3		組織とエンジニアの関係を理解できる。			
(2) 安全性と設計		3		安全に関する設計思想がわかる。			
(3) 知的財産権		4		知的財産権の基本がわかる。			
後期中間試験		-		上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。			
試験の解説と解答							
(4) 知的財産権と企業秘密		1		後期中間試験の解説と解答			
(5) ネットと知的財産権		4		知的財産権と企業秘密の関係を理解できる。			
(6) 内部告発		5		インターネットと知的財産権の関係を理解できる。			
		4		内部告発について理解できる。			
卒業試験		あり		上記項目について学習した内容の理解度を確認する。			
試験の解説と解答		2		卒業試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート			
[到達目標] 科学技術が社会や自然に及ぼす影響を理解することを通じて、技術者の社会に対する責任がどのようなものであるかを理解し、技術者としての責任を自覚することができるようになること。							
[評価方法] 合格点は60点である。中間・期末の成績は試験結果で評価する。 学年総合成績 = (後期中間成績 + 卒業成績) / 2							
[認証評価関連科目] 現代社会, 人類史 I・II, 科学技術社会史							
[J A B E E 関連科目] 環境工学, 電気法規, (事業経営論), (環境科学)							
[学習上の注意] 数のメディアを利用して、今日の技術者倫理に関わる事象を調べ、情報を整理すること。様々な見方を相対的に捉え整理することがポイントである。							
達成しようとしている 基本的な成果	(A)	学習・教育目標	A-2, B-2, C-3	J A B E E 基準	a, b, d-1⑤		

授業科目	必・選	学年	学科	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間
スポーツ教育Ⅱ Sports Education Ⅱ	必修	5年	-----E----- B	白根 弘也	1	前期週2時間 (合計30時間)	
[教材]							
[授業の目標と概要] 様々なスポーツの特性にふれ、生涯にわたりスポーツライフが継続できるように、それぞれにあったスポーツを見つける。また、効果的な練習・ゲームの学習をとおして、公正・協力・責任などの態度を育てる。							
[授業の進め方] 実技演習形式で進める。自己評価を踏まえ、必要に応じて各種目の小テストを行う。							
[授業内容]							
授業項目	時間	内 容					
授業ガイダンス	2	授業の進め方と評価の仕方について説明する。					
1 選択Ⅰ (外種目)	6	守備やバッティングの技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。 ボール操作の技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。 ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。					
(1) ソフトボール							
(2) サッカー							
(3) テニス							
2 選択Ⅱ (ニュースポーツ)	6	各種目の特性を理解し、ルールを確かめながらゲームを進めることができる。					
(種目) ピロポロ、ユニカール、 ペタンク、ショートテニス、 ユニホック、インディアカ							
3 選択Ⅲ (内種目)	8	ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 ドリブルやシュートの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 トスやレシーブ、サーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。					
(1) 卓球							
(2) バドミントン							
(3) バスケットボール							
(4) バレーボール							
4 選択Ⅳ (内、外種目・ニュースポーツ)	8	各種目の特性を理解し、自ら進んで取り組み技術を向上させることができる。					
(種目) 卓球、バドミントン、 バスケットボール、 バレーボール、サッカー、 ソフトボール、テニス、 ピロポロ、ユニカール、 ペタンク、ショートテニス、 ユニホック、インディアカ							
本授業のまとめ・授業アンケート							
[到達目標] 種目別・教材別の技能、知識を身に付けることができること。また、シラバスに掲載以外の運動技能については、個人ごとに問題・課題を発見して目標を設定し、社会的態度及び生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。							
[評価方法] 各種目ごとの実技・技能の小テストが70%、出席状況・授業への取り組み方など平素の態度を30%とする。定期試験は行わない。 学年総合評価 = 実技試験 × 0.7 + 受講態度 × 0.3 合格点は60点以上とする。							
[認証評価関連科目] 保健体育Ⅰ, 保健体育Ⅱ, 保健体育Ⅲ, スポーツ教育Ⅰ							
[JABEE関連科目] スポーツ教育Ⅰ							
[学習上の注意] 用器具の取り扱い等、安全確保に必要な事項を理解させ、活動環境に十分配慮する。							
達成しようとしている基本的な成果	(A)	秋田高専学習 ・教育目標	C-4	JABEE 基準	h		

授業科目	必・選	学年	学科	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間
総合英語 II General English II	必修	5年	M・E	菅原 隆行	2	通年週2時間 (合計60時間)	
[教材] 教科書: 「東京大学 教養英語読本 I」 東京大学出版会 「5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Listening, Reading 2」 マクミラン・ランゲージハウス 「Deep Listening Level 3」 日本英語検定協会通信教育部							
[授業の目標と概要] 英文の精読とTOEIC問題演習を通して、より高度な英語の運用能力を修得する。							
[授業の進め方] 演習形式で行い、小テスト (TOEICテスト) も随時実施する。 <u>試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。</u>							
[授業内容]							
授業項目	時間	内 容					
授業ガイダンス	1	<u>授業の進め方と評価の仕方について説明する。</u>					
Session 5 A Super Tunnel (Part 1)	8	確率論のモンティホール問題に関する英文を理解できる。					
TOEIC リスニング Part I ~ Part IV 演習	3	TOEICリスニング問題の傾向がわかる。					
(Deep Listening) Lesson 1~5	2	基礎的な内容の聞き取りができる。					
前期中間試験	1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。					
試験の解説と解答	1	<u>前期中間試験の解説と解答</u>					
Session 6 A Super Tunnel (Part 2)	7	確率論のモンティホール問題に関する英文を理解できる。					
TOEIC リーディング Part V ~ Part VII 演習	3	TOEICリーディング問題の傾向がわかる。					
(Deep Listening) Lesson 6 ~ 10	3	より詳細な情報を理解することができる。					
前期末試験	あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。					
試験の解説と解答	2	<u>前期末試験の解説と解答、および授業アンケート</u>					
Session 7 The Pendulum Clock of Huygens (Part 1)	7	測量学の歴史に関する英文を理解できる。					
TOEIC リスニング Part I ~ Part IV 演習	4	TOEICリスニング問題のスピードに対応できる。					
(Deep Listening) Lesson 11~ 15	3	必要最低限のコミュニケーションのやりとりができる。					
後期中間試験	1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。					
試験の解説と解答	1	<u>後期中間試験の解説と解答</u>					
Session 8 The Pendulum Clock of Huygens (Part 2)	6	測量学の歴史に関する英文を理解できる。					
TOEIC リーディング Part V ~ Part VII 演習	4	速読により必要な情報を早く見つけることができる。					
(Deep Listening) Lesson 16 ~ 20	3	相手と簡単なディスカッションができる。					
卒業試験	あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。					
試験の解説と解答	2	<u>卒業試験の解説と解答・授業のまとめ・授業アンケート</u>					
[到達目標] 長い英文を正確に読みとる英語力と、TOEICスコア450点以上の英語力を身につけるのが目標である。							
[評価方法] <u>合格点は60点である。</u> 各中間、期末の成績は、試験成績70%、小テスト30%で評価する。 学年総合成績 = (前期中間成績 + 前期末成績 + 後期中間成績 + 卒業成績) / 4 <u>なお、TOEICスコアが300点未満の学生は、単位取得が困難になるので注意すること。</u>							
[認証評価関連科目] 英語 I, 英語 II, 英語 III, 英語LL演習, 英語会話, 総合英語 I							
[JABEE関連科目] 総合英語I、上級英語、工業英語、(応用英語I・II・III)							
[学習上の注意] 宿題が多いので計画的に課題を進めること。宿題をしない学生は履修を放棄したとみなすので注意すること。							
達成しようとしている基本的な成果	(C)	秋田高専学習成果・教育目標	D-2	J A B E E 基準	a, f		

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
上級英語 Advanced English	選択	5年	M E C B	桑本裕二	1	後期週2時間 (合計30時間)	
[教 材] 自製のプリントを配布							
[授業の目標と概要] TOEIC テスト400点取得に必要な英語力を養成する。							
[授業の進め方] 演習形式で行います。教科書に沿って授業を進めます。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがあります。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
TOEIC 問題演習		27	TOEIC テスト 300点台程度の得点者は、基礎的な英語力が備わっていない。この授業では、300点代程度の得点者が400点以上を取得するために、Listening では主に、Part I, Part II の、演習を集中的に行い、当該箇所の聞き取り能力を養成する。Part III, IV は、このレベルの学習者には聞き取り困難であるので、積極的には演習しない。Reading は、Part V のうち、比較的難易度の低いものを集中的に演習することで、初歩的な問題を見つけ出し、それらを完璧に解くことと、きわめて困難な問題をそれと見抜くテクニックを磨く。Part VI もほぼこのやり方にしたがう。Part VII は、図表が含まれる文書が比較的理解しやすいので、そのような初歩的な問題を正確に解答できることをめざす。 全体的には、初歩的な英語力の身につけ方について学ぶ。				
		-					
卒業試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	卒業試験の解説と解答、および授業アンケート				
[到達目標] TOEIC 400点以上を取れること。							
[評価方法] 合格点は60点である。学年末の成績は、試験結果100%で評価する。校内実施のTOEIC IPテストおよび公開テストの受験者が定期試験の成績を上回るスコアを獲得した場合はその成績を評価点とする。本授業開講期間中、上記IPテスト、公開テスト、TOEIC形式の定期試験で一度も300点を超えない場合は単位を認めない。							
[関連科目] 総合英語 I・II, 工業英語 (応用英語 I・II・III)							
[学習上の注意] Listening はいかに聞き取れるかの訓練、Readingは英文を瞬時に読み取り理解する習慣を身につけるものであるから、予習は必要ありません。授業中の集中力が必要です。							
達成しようとしている基本的な成果	(C)	秋田高専学習・教育目標	D-2	J A B E E 基準	a, f		